

Weekly Report

2015～2016年度



平成28年2月23日(火)
第1801回例会

- 会長 鴨志田 敏彦
- 幹事 赤本 昌広
- 会報 中村 和広



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブのシンボルカラーである百合の花は、地味には有る様だが、この多岐にわたる活動の中心に思ふに、花の姿により、花の香りに、花の清純な乙女を感じさせようとする。昭和五十五年春吉日 大友 大五郎

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1801回例会記録 平成28年2月23日(火) 30/46回

<点鐘> 鴨志田会長

<ソング> 我等の生業

<お客様ご紹介> 鴨志田会長
米山奨学生 マリア・マグダレナさん

<会長報告> 鴨志田会長

1. 2016～17年度PETSプログラムとクラブ活動状況調査書送付の件 地区に送付いたします。
2. 国際ロータリー公式ロゴマークシール送付の件
3. 2016年国際ロータリー年次総会(ソウル大会)参加旅行募集の案内
4. 神奈川県ロータリアン親睦テニス大会(上野杯)の案内
4/12(火) 9:30～ 湘南ローンテニスクラブ
5. 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり) 2016総合プログラムへの広告掲載のお願い
次年度理事会にかける事とします。
6. 文化の風・春コンサート2016賛助金のお礼が届いております。

<幹事報告> 赤本幹事

- *会報着 新川崎RC
- *その他
 - ・第5回 会長・幹事会開催のお知らせ
3/9(水) 18:30～ ホテルモリノ7F

<ニコニコ委員会> 安藤志子委員

鴨志田会長→「マリアの故郷、インドネシアへ行ってきました。参加者の皆様お疲れ様でした」。赤本幹事→「鵜飼会員、本日の卓話よろしくお願いたします。米国の大統領選が株価に与える影響についてお話いただけたら幸いです」。鵜飼会員→「本日は卓話よろしくお願いたします。荒れた相場の中で聞きたくない話かもしれませんが…。以下、感謝をこめてニコニコへ。阿久澤会員、安藤美恵子会員、安藤亨会員、福家会員、井上勇会員、石野会員、北島会員、小島会員、中島健児会員、中島眞一会員、中村会員、大矢会員、親松会員、佐藤会員、関山会員、嶋会員、白井会員、鈴木文夫会員、玉井会員、寺川会員、渡邊会員、結城会員、金子会員、坂井会員、安藤志子会員。

<出席委員会> 渡邊委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1801回	42	29	13		69.05%
第1800回	42	29	13	3	76.19%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	28件	28,000円	827件	903,612円
財団	0件	0円	13件	186,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	120,000円
米山	0件	0円	25件	350,000円

- 第1803回 3月8日 会員卓話⑤
- 第1804回 3月15日 クラブフォーラム④
- 第1805回 3月29日 お花見移動例会

本日のプログラム

<会員卓話>

鷗飼会員

1970年代にスイスでマイナス金利になりました。リーマンショック以降はスウェーデン、フィンランドでマイナス金利の導入、直近の主要国では2014年に6月5日 EU公定歩合を下げマイナス金利0.1%、その後9月4日マイナス金利0.2%を実施しています。金融市場は比較的過去の経験則をもとに動くので、実際今混乱している日本の金融市場も最終的にはドイツ国債、フランス国債と同じように終息していくのではないかと見通しております。

国債イールドカーブは、残存年数のその利回りが何%になるのかというもので、1年から6年位まで横一直線の状態をイールドカーブのフラット化と呼び、長きに渡って平坦な曲線しか描いていない時は、景気が転換点を迎えてこれから金利水準がどうなるか不透明と表している時に、こういう現象が起きます。

先週金曜日のドイツ・フランス国債の年限と実際の利回りはフラットではなく、年限の短い所は非常にマイナスの幅が大きくなり、長い所はそれなりに金利がついてきます。更に日銀がマイナス金利拡大するとなれば、年限短いもののマイナスが更に広がり、長いものが段々落ち着きを取り戻してくると見えています。ヨーロッパが落ち着きを取り戻すまで9ヶ月かかり、債券市場の大きい所は混乱が落ち着くまで最低半年から9ヶ月位かかると見しております。

個人の定期預金への影響は少ないと見しております。それは銀行が運用しているお金は国債ばかりではなく、当然株や外債で運用しています。シンプルな投資の手法は、例えばアメリカの2年国債0.75%を買い、利払いが何%、満期がいつと決まっております。為替予約をかけるので、為替がいくらになろうと交換の約束が最初にされています。その為替予約をするにはコストもかかりますが、そのコストはアメリカの一カ月物の金利と日本の一カ月物の金利差とが引かれます。日本がマイナス金利になり金利差が広がると、為替の予約コストも余計にかかるということになるので、銀行や保険会社の株が売られ利益が減るという形で収益が圧迫されるという部分ではありますが、ドイツの10年物などヘッジコストをかけてもある程度の金利をプラスで確保することができるので、個人の定期預金マイナスになる所までコストをかけるので何とか持ちこたえることができます。

日本郵政がマイナス金利導入した後の所で、国債の比率が高いので苦しくなると頭取が話されていましたが、郵貯銀行簡保生命は自分たちの運用の仕方が上場する前にオープンにしておき、郵貯保有国内債53%、簡保71%で、持っている比率が他と比べて

圧倒的に違います。外国債比率が少ないので一気に外債を増やそうとしても確保できないので、これ以上お金を預けてもらっても困る、と言ってお金が出て行ってもしょうがない、残っているお客様に何とか利息が確保できるというのが現状です。

国債がマイナス金利だと騒がれてはいますが、金融期間が発行している債権等はマイナスになっている訳ではありません。ここが確保できれば皆さんの定期預金の金利がマイナスになることはありません。金融機関の運用の仕方を見ると、年限が違うところで金利の差が生じるので利益生み出すことも可能なので慌てる必要はありません。ただ金利が上がることはありません。このような状況ですが今は個人向け国債が売れております。理由は最低金利0.05%が保証されているからです。

為替のチャートを見るときに荒れている相場なので、ヘッジファンドや投機筋の動きをどうやって仕掛けるのか。壁が出来てないところは、何か仕掛けると一気に上や下に突き抜けることがあります。株式と違い出来高がないので滞留日数を見ます。2月11日祭日、翌日はアメリカの祭日とこういう時は仕掛けやすく、この日の為替の円安は完全にヘッジファンドが仕掛けました。日本はマイナス金利なので長期間になるとマイナス金利分を負担しなければならなくなるので、短期間で儲けて終了することとなりました。これから円安になるかという滞留日数から見ると難しいです。

株式については、8・9月に急落して急に戻しましたという時に何をあてにするかということ、下げ幅と日数です。日数の所での変換点が多いです。2月12日で底を付けたと言われましたが、日数でみると1ヶ月半ちょうど経ち、そろそろ安くなったところは色んな所が買っているという動きになってます。

株式されてる方にこれから注目する銘柄は何かというテーマは二つで、株主資本利益率が8%基準にして、未満から8%を越す時に株式が上がります。株主資本利益率を上げるために、その策を毎年連続して出す会社は株価として買われます。マイナス金利が続くのでお金持ち会社、内部留保金がどれだけあるか、というところで、それぞれの会社の政策ではなく実力を見極めると、今年の相場は戦えるのかなと思っております。

